

宇治市観光振興計画推進委員会 議事録

日時 令和6年7月8日(月) 13時～15時

場所 JR宇治駅前市民交流プラザ「ゆめりあうじ」4階 会議室1

出席者

宇治市観光振興計画推進委員会

委員長 坂上 英彦

委員 藤原 直樹

〃 片山 明久

〃 中村 藤吉

〃 山仲 修矢

〃 浅井 栄一

〃 四辻 清美

〃 奥野 美奈子

〃 近野 薫

〃 岸田 秀紀

〃 堀井 長太郎

〃 佐脇 至

オブザーバー 多田 重光、松田 敏幸

事務局

産業観光部 部長 脇坂 英昭

産業観光部 観光振興課 課長 木田 陽子

産業観光部 観光振興課 副課長 杉本 隆之

観光振興課 観光企画係 係長 大原 豪

観光振興課 観光企画係 主任 西井 利治

観光振興課 観光企画係 主事 田島 佳奈

観光振興課 観光企画係 秋山 茂久

関係課

産業観光部 農林茶業課 課長 齋藤 政也

産業観光部 文化スポーツ課 課長 岡部 均

建設部 道路建設課 副課長 大島 由光

都市整備部 都市計画課 課長 中本 洋

都市整備部 歴史まちづくり推進課 課長 谷澤 潔

都市整備部 交通政策課 課長 倉辻 崇秀

宇治市教育委員会 教育支援センター 学校教育課 課長 安留 岳宣

宇治市教育委員会 教育支援センター 源氏物語ミュージアム 館長 家塚 智子

## 資料

- ・宇治市観光振興計画推進委員会 次第
- ・宇治市観光振興計画推進委員会 委員名簿
- ・宇治市観光振興計画推進委員会設置要項 資料1
- ・宇治市観光振興計画推進委員会の会議の公開に関する要項 資料2
- ・第2期宇治市観光振興計画 前期アクションプラン総括資料(案) 資料3-①
- ・紫式部ゆかりのまち魅力発信プロジェクト 取組内容 資料3-②
- ・大阪・関西万博きょうとアクションプランについて 資料3-③
- ・宇治市観光動向調査の実施について 資料4
- ・中期アクションプラン策定スケジュール (案) 資料5

### 1. 開会

### 2. 委員の委嘱

### 3. 委員会の公開について

事務局より資料2について説明

### 4. 議事

#### ・第2期宇治市観光振興計画の進捗状況報告

事務局より資料3-① 資料3-② 資料3-③ について説明

委員長：

事務局からの説明に質問等がある方はご意見をお願いしたい。

委員：

幅広く色とりどりの取組みをされていて素晴らしいと感じた。

質問が2点あり、1点目は大河ドラマが観光分野で宇治市にどれくらいの効果をもたらしたのかということ。2点目は、先程宇治橋通商店街を回っていた際、かなりインバウンドの数が多かった。コロナ後のインバウンドがどのような影響を及ぼしているのかを知りたい。

事務局：

まず大河ドラマの効果について、宇治市は30年以上前から源氏物語のまちとしての取組みを進めてきたため、大河ドラマだけの効果を図るのは難しいが、源氏物語ミュージアムの入館者数が伸びていることもあり、影響はあるものと考えている。

インバウンドについては、全ての旅行者の統計を取っているわけではないが、観光案内所の案内件数や市営茶室の対鳳庵においてインバウンドの数が増えていると聞いている。以前はアジア圏の方が多かったが、欧米の方も増えていると聞いている。

また、現在お茶と宇治のまち歴史公園「茶づな」で開催している大河ドラマ展は6月時点で約38,000人にご来場いただいている。ドラマ展はドラマの展示だけでなく、宇治の歴史を紹介する展示もあり、ドラマをきっかけに宇治に関心を持っていただいた方に情報を伝え、宇治のまちを巡っていただけるような工夫も実施している。

委員：

宇治市内の観光の周遊という観点で梶さんの音声ガイドといったコンテンツを入れたと報告があったが、利活用度や活用されている年齢層など、もう少し詳細な情報を聞きたい。

事務局：

梶裕貴さんの音声ガイドと京都アニメーション協力で作ったPR動画を作成し、宇治に来られた方限定で視聴できる特別感を感じられる運用を行っている。6月時点では1200~1300人の視聴があった。

委員：

宇治市内を周遊していただける今までになかった取組みなので、源氏物語ミュージアムをはじめ、様々な施設と協力し周遊に力を入れていただければと思う。

委員：

肌感覚ではインバウンドの数はかなり多くなっている。私の店でも今年の6月のインバウンドの数は前月の7倍になった。今年の4月から響けユーフォニアムの放送もあり6月1日から激増した。6月2日に文化センターで実施した、京都アニメーションの公式イベントが要因だと思われる。そのイベントにも中国、台湾などの方が多く来ており、その日から長期滞在される方も沢山いた。

また、あがた祭りの日に観光振興課が大吉山で実施している響けユーフォニアムのキャラクター等身大パネルの展示は1000人を超える人出があったと聞いたので、このような取組みをもっと進めていってはどうかと思う。

また、資料の中にはなかったが、この秋のニンテンドーミュージアムが開館に向けて周遊バスを走らせるということも聞いたが、その他にも周遊に関しての取組みを進めたらよいと思う。

委員：

私の店も約7割程度はインバウンドである。去年の5月にコロナが5類になり、国の旅行支援もあり、国内旅行者が増えた。秋口から2月にかけて欧米の方が増え、2月以降は韓国、台湾、中国の方が増えた。

消費の形は今までは物を買って帰ることが多かったが、最近はお土産より何か体験をする消費が増えた。お土産も単価が高いものを買う方が増えた。

そうなることから先は、観光の質を上げ、1ステップ2ステップ上のお客様を狙う必要があると思う。

委員：

新茶の市場が終わり、全国的に茶価が高かったのは宇治だけであった。鹿児島や静岡などの茶の産地は軒並み平均価格が落ちた。一番良かったのは抹茶であった。匠の館も大変外国人の方に人気があり、今までは運営が厳しかったところもあったが、現在は黒字化している。

抹茶は日本人よりも外国人の方が入りやすいと感じる。

日本人は作法が分からず敷居が高いといったイメージを持つ方が多いが、外国の方はそのハードルが低く、なぜ日本人はこんなおいしいものを飲まないのかといった意見を言う方がいるくらいである。

益々宇治の抹茶を求めて来られる方が増えると思われる。

観光振興計画を推進していただいているが、これ以上に観光の動向が早いため、これにどう対応するかは難しいことであると思う。

委員：

海外での宇治茶のブランド力を図る必要があるが、紅茶で言うとダージリンのようにお茶と言えば宇治茶というくらいの浸透を図れたらよいと思う。

万博で海外の方が来られた際に、お茶の本場として宇治を知ってもらうことは大事である。万博のアクションプランにあげられている「日本一の宇治茶の伝統と文化体験ツアー」の今の段階で検討している取組み、特に海外の方へのアピールについて教えて欲しい。

事務局：

海外から多くの方が来られるこの機会を逃すことなく、宇治茶の魅力を最大限伝えていければと考えている。アクションプランに書いてある内容はこれまでからも実施しているが、さらにブラッシュアップして伝えていければと考えている。

委員：

宇治の場合は観光とセットで宇治茶のブランド力の向上が出来ると考えるので、是非とも頑張ってもらってPRしてほしい。

委員：

万博のきょうとまるごとお茶の博覧会は家元や茶道関係者だけでなく、生産者や市民を巻き込んだものにしたいと考えている。引き続き宇治市は中心になって取組んで欲しいと思う。

京都アニメーションとのコラボの影響もすごいものと考えている。

万博や京都アニメーション等、これらが終わった後も、痕跡を残していけるようなことが大事であると考えている。

委員長：

2月前に万博会場に行った。マスコミが冷ややかな状況ではあるが、実施に行く期待を持てるものであった。来年4月頃にはプラス評価の報道が出てくるのではないかと思う。日本人の感覚はお祭りごとが好きだと思うが、今はそうではないふりをしているように思える。給与が増えていないので、使い道に困るといったことはないが、万博は海外の方が多く消費に来られることになるため、コンテンツの造成と各地に行く足をどう準備するのかが、その地に行くか行かないかが決まると考えられる。

委員：

学生の取組みで源氏物語ロゲイニングを10月から実施する予定をしている。

「光る君へ」の放送があったため本企画を実施したが、今年だけの企画ではない。今後続けていける企画、コンテンツが付加出来たものと考えられる。

先程、委員のお話でもあったように、ユーフォニアムといった明確な目的をもって来られるインバウンドの方が多いと思われる。

梶裕貴さんは海外でかなりのビッグネームであるため、音声ガイドがどれほど海外の方に知られているのかが気になる。今度のコンテンツの開発や情報発信はインバウンドを意識したものにするべきと考える。

委員：

茶づなへ行くルート案内が少なく分かりにくい箇所があるので、もう少し案内を強化しても良いと感じた。

ニンテンドーミュージアムについてはなかなか情報公開されないが、もう少し情報を得ることが出来るように地道な取組みを実施して欲しい。

委員：

まずは万博エリアから各地への誘客について検討している。

これまでからも取組みやPRを推進していた中で万博という捉え方をしている。

宇治市も様々な商談会や旅行博に行かれていると思うが最近の実績を教えてください。

事務局：

6月中旬に阪急交通社さんの商談会で茶づなの担当者も同席し、PRを実施した。  
大河ドラマ展を契機に宇治市お越しいただく方がいるので、地域の方も含めて盛り上げていけたらと考えている。  
秋以降も商談会が予定されてるので、観光協会と協力して取組んでいきたいと考えている。

委員：

当面は国内旅行者がターゲットという認識でよろしいか。

事務局：

国内旅行者だけではなく、海外からの旅行者については資料37ページにあるとおり観光協会中心にVJTMで亀岡市や舞鶴市と連携した取組や台湾向けのツアー造成等を行っている。

委員：

景気のよい話が多いのは良いが、これに満足しては危険である。来られた方の満足度を高め、国内外問わずリピーターを作ることが大切である。  
リピーターを作るにはブランドが必要。ブランドとは信頼であり、期待を裏切らないことが大切。皆が同じ方向を向いて取組むことが今のタイミングで大切であると思う。

委員長：

観光指標をリピート率においているところが多くなっており、入込客数ではなく満足度で捉えていこうとしている自治体が多くなっている。

#### ・宇治市観光動向調査の実施について

事務局より資料4に基づき説明。

委員長：

動向調査は4月に実施するのか、それとも4月にまとめるのか。

事務局：

調査は4月に実施し、5月頃にまとめる予定をしている。

委員長：

来年4月に万博が開催されるので、万博との関連を把握するのであれば、時期を少し伸ばしても良いのではと思う。

事務局：

今回は計画策定のスケジュールの関係から、観光客の多い秋と春、令和6年の11月と令和7年の4月にアンケートを実施する。11月に実施したアンケートについては委員の皆さまに1月頃に中間報告を行う予定。ご意見についてはそのタイミングでいただくことも可能。

委員：

動向調査の関係で、京都府でも京都府全域を対象にした動向調査を行っている。動向調査と満足度調査を年2回実施している。調査の中ではどこから来たのかや次にどこに行くのかなどの質問項目もあるので、様々な調査を参考に次回の計画の策定をしていただければと思う。

委員：

令和4年の動向調査を見ていると、イメージ調査や支出した費用の項目があるが、これは国内、インバウンドを併せたものになっていると思われるので、インバウンドの情報があれば有効と考える。現在日本人の価格とインバウンドの価格に開きがでてきている。イタリアのフィレンツェの中心部にある寺院は3段階の料金設定がある。最上階まで行くと日本円で4800円程かかる。それと比較すると平等院は700円であるので、海外の特別拝観はかなり高くなっている。ホテルも素泊まりで2万円程度であった。ベニスにはアクセス税というものがあり、駅から出たタイミングで事前支払いの確認があり、5ユーロ必要である。観光地はそのような対応も必要になってくるのでは思った。

事務局：

観光の消費額について、令和4年に実施した調査は日本人の消費額になっている。平成28年度に実施した動向調査では日本人と外国人を分けて実施しており、今年度も同様に日本人と外国人を分けて調査を実施する予定をしている。

委員長：

特に外国人動向調査ではいつも以上に細かい調査をした方が良いと思う。海外に行った際に感じたのは、海外の方はお金を使う意欲に満ちあふれている様子であった。日本人価格でいくと、海外の方から見ると日本文化の安売りと捉えられる可能性がある。日本人と外国人で単価を変えるくらい大きな戦略を取っても良いと思う。この調査の中で現在の平等院の拝観料は安いと思うか、どれくらいなら良いか等を調査に加えることを検討しても良い。現在、外国に行くだけで国に入るだけで5~6000円取られるが、日本は1000円である。観光における大きな変化がある中で、日本は従来型の対応をずっとしているように感じる。アンケート調査ではそのあたりを明らかにし、宇治の価値をはっきりとさせるのが良いと思う。

委員：

銀座にある店舗では、お越しになられたお客さんか店員を呼んで、こんなお値段で大丈夫なのかと聞かれることがあり、日本の中でも金額に関する感じ方の差はある。本来は宇治からの送料等を価格に乗せるべきと思うが、まだ踏み切っていない。2重価格はなかなか受け入れられないと感じている。平等院や二条城の拝観料はスターバックスのコーヒー1杯よりも安いと言われているので、もう少し値段を上げていく必要があると思う。今後のベースアップ等の影響もあり、商品の価格が上がってくる可能性はあると思う。

委員長：

人件費が上がるので、価格を上げないと雇用面で十分な環境を整えることが出来ないという、日本が抱えている問題が指摘されていると感じる。調査については秋に実施し、意見を聞いてもらえると説明があったがそれでよいか。

事務局：

動向調査については、9月から準備を始める関係から、7月末頃までにご意見をいただければと調査項目への反映が出来るので、可能であればご意見をいただきたい。

#### ・中期アクションプラン策定スケジュール（案）について

事務局より資料5に基づき説明。

## 5. その他

委員長：

本日の委員会全体に関して意見はあるか。  
観光について、情報共有、あるいは、御意見を賜りたい。

委員：

観光客の方はJR宇治を降りられて、宇治橋通りを通り、平等院へ向かう方が多いと思う。最近、道路の凹凸によって転倒される方がいるという話を聞いた。京都文教大学の学生が宇治橋通りの道路の凹凸を調べた資料があるので、また情報提供したい。歩道の破損の修繕を検討して欲しい。

委員：

万博ではビジネスでお越しになる方が多いと思う。その方を宇治のお茶の産業に結び付けることが大切と考えるので、自組織も含めて取組みを検討すべきと思う。

委員：

宇治市は大河ドラマのPRをしているが、PRの方法をもう少し考えた方が良いと思う。  
駅で待たれている方などへのPRをもっと増やしてはどうかと考える。

委員：

近々の課題として、観光スポットが多い宇治周遊のためのモビリティの導入やその拠点づくり等の検討はあるか。

事務局：

市内の周遊において駅からのモビリティの導入は課題の1つである。この秋にニンテンドーミュージアムが開館すると言われており、小倉に来られた方が中宇治へ来てもらうために、バスの実証運行を7月21日から開始した。  
また、かわまちの計画においても小型モビリティの導入を検討している

委員：

快適に観光できる環境整備の中で、特に外国人旅行客が宇治市内でキャリーバッグをゴロゴロ引きずりながら周遊しなくても良いように、駅のコインロッカーを増設してほしいと思う。

委員長：

本日はたくさん貴重なご意見をいただきましたと思う。本日の内容をまとめると、インバウンドが急増しており、多くの方が宇治に来られるようになった中で、満足度やリピーターを増やす必要があり、そのためには質の追求をしていく必要があるのではないか。海外のお客様からの目線からすると、価格が安すぎるため、もう少し価値というものをグローバルな目で見えていく必要があり、観光においても価格戦略を考えることが大切である。そのことがより良い観光地づくりと、そこで働く方の環境を整えていくことになるということが今回のご意見の主要な内容とまとめられる。  
この内容を今後の計画に反映していただきたいと思う。

## 6. 閉会

- ・脇坂部長より挨拶